

教育委員会事務局学校教育課

1 学校教育関係

(1) 学校別就学児童生徒数

ア 小学校

令和6年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	
明道小学校	14	313	14	318		5	岡崎 尚二
義方小学校	20	416	20	402		△14	藤谷 雄一
啓成小学校	16	292	17	321	1	29	安部 悟
就将小学校	17	322	17	315		△7	三木 徹
車尾小学校	22	490	21	484	△1	△6	坂本 貴俊
福生東小学校	25	534	24	498	△1	△36	西村 健吾
福生西小学校	14	273	14	274		1	大塚 恵子
福米東小学校	28	570	26	541	△2	△29	井田 剛
福米西小学校	27	597	25	590	△2	△7	船田 めぐみ
加茂小学校	26	570	27	594	1	24	山浦 俊也
河崎小学校	13	219	13	227		8	吉田 章一
住吉小学校	26	568	30	579	4	11	村中 祥宏
尚徳小学校	11	158	8	147	△3	△11	足立 彰子
五千石小学校	8	125	7	133	△1	8	山本 晶子
彦名小学校	10	203	11	197	1	△6	山根 真奈美
崎津小学校	8	136	8	140		4	河本 里美
大篠津小学校	9	86	9	95		9	遠藤 東代子
和田小学校	8	91	8	86		△5	太田 敦弘
弓ヶ浜小学校	22	515	23	523	1	8	笠井 和観
成実小学校	8	153	9	149	1	△4	青山 武司
箕蚊屋小学校	16	297	17	288	1	△9	灘脇 俊彦
伯仙小学校	14	368	16	346	2	△22	吉田 誠克
淀江小学校	24	508	22	506	△2	△2	濱田 丈司
合 計	386	7,804	386	7,753		△51	

イ 中学校

令和6年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
東山中学校	16	377	15	365	△1	△12	船田 次郎
福生中学校	15	364	16	398	1	34	森脇 宏
福生中学校いずみ分校	3	13	2	8	△1	△5	森脇 宏
福米中学校	23	573	22	568	△1	△5	福田 知浩
湊山中学校	14	330	13	323	△1	△7	林原 ゆかり
後藤ヶ丘中学校	23	553	22	542	△1	△11	金川 朋史
美保中学校	9	153	9	159		6	堀場 善智
弓ヶ浜中学校	12	324	13	336	1	12	玉野 伸也
尚徳中学校	11	228	11	228			安田 順一
加茂中学校	14	340	15	338	1	△2	大塚 秀策
淀江中学校	11	256	11	256			八幡 晋史
合 計	151	3,511	149	3,521	△2	10	

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
箕蚊屋中学校	17	406	17	435		29	奥田 和弘

(2) 指導関係

ア 学校計画訪問

学校の管理・運営の実態及び教育実践の状態を把握するとともに、当面する問題点や現場の意見を聴取した。

訪問校 17校

臨時訪問校 34校

イ 知能検査、心理検査の実施

(ア) 小学校2年・4年、中学校1年に知能検査実施

(イ) 小・中学校全学年に心理検査実施

(3) 研修関係

教員の派遣研修

ア 小・中学校管理職研修会（8月）

イ 小・中学校教頭研修（6、8、11月）

ウ 小・中教務主任研修会（小：6月、12月 中：8月、12月）

エ 特別支援教育研修会（4月、5月、2月）

オ 小・中学校人権教育研修講座（6月）

(4) 障がいのある児童生徒の就学指導

米子市教育支援委員会を8月、9月、11月、1月に開催し、個々の障がいに応じた適正な判定と就学指導について審議した。

(5) 不登校児童生徒対策事業

教育支援センターぷらっとホームにおいて、市内小・中学校の不登校および不登校傾向児童生徒を対象に学習支援、自立支援を実施した。校内サポート教室を市内2小学校（市2）9中学校（市4、組合1、県4）に設置し校内での多様な学びの場を設置した。

(6) コミュニティ・スクール推進事業

令和6年度より、市内全ての学校に、学校運営協議会が設置された。めざす子ども像に向けて、地域と連携、協働する学校づくりを生涯学習課とともに推進した。

(7) スクールソーシャルワーカー活用事業

教育委員会に専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカー10名の配置、及び、専門的知見を有するスーパーバイザーを外部委託し、問題を抱えた児童生徒に対し当該児童生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワーク活用などの支援活動を行った。

(8) 通級指導教室整備事業

明道公民館3階と市内小中学校に通級指導教室を設置し、支援の必要な子どもたちのニーズに応じた指導や支援を行った。

(9) 小学校少人数学級の実施

少人数学級（1年生から5年生は1学級30人、6年生は1学級35人）の実施に伴い、3年生から6年生について加配教員（11校18人）に要する人件費の一部として3,600万円を鳥取県に寄付した。（1学級当たり200万円）

(10) 中学校少人数学級の実施

少人数学級（１年生は１学級３３人、２・３年生は１学級３５人）の実施に伴い、２・３年生の加配教員（８校１３人）に要する人件費の一部として２、６００万円を鳥取県に寄付した。（加配教員１人当たり２００万円）

(11) 英語指導助手配置事業(民間委託事業)

７名の英語指導助手が市内小学校・中学校の巡回英語指導を実施した。

(12) 児童生徒定期健康診断

ア 結核健康診断

結核健康診断問診票により、要精密検査となった者又は学校医その他の担当の医師において必要と認める者に対して、胸部エックス線直接撮影等の精密検査を実施した。

区 分	精密検査		有所見者	異常なし
	対象者数	受検者数		
小学校	1	1	0	1
中学校	0	0	0	0
合 計	1	1	0	1

イ 心電図検査

小学校第１・４学年および中学校第１学年全員を対象に実施した。

区 分		対象者数	受検者数	要精検者数
小学校	第１学年	1,272	1,270	25
	第４学年	1,284	1,280	33
中学校		1,319	1,313	28
合 計		3,875	3,863	86

ウ 尿検査

全児童、生徒を対象とし、試験紙法によって蛋白・糖・潜血の三法で実施した。

区 分	対象者数	受検者数	陽性者数		
			蛋白	糖	潜血
小学校	7,752	7,737	26	4	40
中学校	3,956	3,911	75	4	71
合 計	11,708	11,648	101	8	111

(13) 教職員定期健康診断

ア 定期健康診断

教職員を対象に定期健康診断を実施した。

区 分	受検者数
小学校	479
中学校	234
合 計	713

イ 結核健康診断

教職員を対象に胸部エックス線検査を実施した。

区 分	受検者数	被発見者数
小学校	466	0
中学校	230	0
合 計	696	0

ウ 胃の検査

４０歳以上の教職員を対象に胃部エックス線透視撮影を実施した。

区 分	受検者数
小学校	130
中学校	77
合 計	207